

## 6 . 評価委員会による評価結果

### ( 1 ) 老人福祉施設 ( 老人福祉センター等 4 施設 )

指定管理者の名称 社会福祉法人 台東区社会福祉事業団  
所管部課 福祉部 高齢福祉課

#### 評価委員会による評価

##### 1 評価の観点

「評価の観点」(1)～(4)における委員会の評価については、委員会の合議により決定した。

「委員のコメント」及び「評価委員会から区への意見」については、評価の過程における多様な意見を報告書に反映するため、各委員から出された様々な意見を記載している。

##### (1) 事業の運営

委員会 の評価	A	【参考】区の評価			
		センター	入谷	橋場	三筋
		A	A	A	A

##### 委員のコメント

###### 良い点

ひとり暮らしの高齢者が多く利用されていることがアンケートの結果からもよくわかり、視察をした際も利用者からそのような話を聞くことができた。これから益々ひとり暮らしの高齢者が増えていくことを考慮すると、老人福祉施設に社会的孤立を防ぐ役割があることを評価したい。また、その役割が非常によく実践されていると感じた。

「地域の高齢者が健康で明るく生きがいのある生活を送れるよう活動の場を提供する」という施設の設置目的に沿った事業が十分に実施されていると感じた。

職員の対応も明るい雰囲気非常に良かった。

## 改善すべき点

職員の言葉かけについては、丁寧を心がけているのかもしれないが、少々不自然に感じるがあった。利用者アンケートでも、職員の言葉遣いについて指摘されているので、法人全体として受けとめ、職員研修などを取り入れて改善してほしい。

どの施設もカラオケが人気のようなのだが、自分が歌う順番を待つだけでなく、新しい曲を覚えたり、参加者の一体感を出すために、何曲かに1回は全員で歌う等の工夫をしてはどうだろうか。

老人福祉センターのトレーニング室をもっと柔軟に活用できるように検討してほしい。利用者アンケートにも、月曜日が祝日で休館となることが多いため、月曜日に設定されているトレーニング教室の曜日を変更してほしいという意見があった。

## その他

自分自身の人生の終わりに困らないよう、成年後見・権利擁護・終活等に関する情報や話題を提供し、元気なうちから考えて準備していけるような取り組みをしてほしい。

囲碁や将棋を行う際、机に盤を置き、椅子に座って行っているのですが、高さを調整しやすい机や椅子の購入を検討してはどうか。

老人福祉センターの夜間利用については、積極的に地域住民に向けて活用を呼びかける努力をしてほしい。

(2) 施設の維持管理

委員会 の評価	A	【参考】区の評価			
		センター	入谷	橋場	三筋
		A	A	A	A

委員のコメント

良い点

各施設、清掃がすみずみまで行き届いていて、気持ち良かった。特に靴を脱いで利用するところはカーペット敷きになっており、大変だと思うがよく清掃されていた。

給茶機や冷水器については、衛生管理が徹底されており、利用時の注意事項を掲示するなど、気持ちよく利用できるような工夫がされていた。

改善すべき点

三筋老人福祉館の茶室については、昼食場所や談話室等として活用しているとのことだが、イスや座布団などが置かれており、物置のような雰囲気となっていた。快適に利用できるよう、収納として使用する部分はカーテンで仕切る等、工夫してほしい。

その他

建築年数が経っている建物であるが、いろいろ工夫をしながら使用していることがうかがえた。職員の対応や配慮が、ハード面の不十分な点をカバーしているので、今後もその点を大切にしてほしい。

### (3) 利用者の満足度

委員会の 評価	A	【参考】区の評価			
		センター	入谷	橋場	三筋
		A	A	A	A

#### 委員のコメント

##### 良い点

利用者アンケートの結果、どの施設も「大変満足」「概ね満足」が占める割合が高く、利用者が満足して利用していることがわかる。

視察時大変楽しそうに、また和気あいあいとして、とても良い雰囲気だった。職員の対応は親切であり、利用者のお話からも十分に満足していると感じた。

入浴の利用が多く、利用者からも毎回利用しているという声もあることから、入浴サービスの満足度が高いと感じた。

##### 改善すべき点

視察の際に、入浴は1日80人ほど利用されていると聞いたが、利用者アンケート結果を見ると、利用目的で「入浴」と回答しているのはごく少人数である。アンケートの取り方について、検討してほしい。

「笑顔の集い」のような講話は多くの人に聞いてもらいたいと思うが、せっかくの施設や事業がまだまだ知られていない状況である。「ほのぼの通信」等の施設利用案内を町会回覧や老人会で紹介するなど、事業等を積極的にPRし、新しい利用者を増やしていくことも必要と考える。

##### その他

アンケートでの満足度は高いが、アンケートの自由記述に検討してほしい点などが細かくあげられているので、次年度の事業計画を立案する際に、検討してほしい。

(4) 収入支出

委員会の 評価	A	【参考】区の評価			
		センター	入谷	橋場	三筋
		A	A	A	A

委員のコメント

良い点

会計に関する資料を確認した結果、予算に沿って適切に執行されている。

その他

施設の運営にあたり、節約できることは引き続き節約に心掛けてほしい。

## 2 総合評価

総合評価は、7ページに示した基準に従い、「評価の観点」の結果に応じて評価を付した。

委員会の 評価	妥当	【参考】区の評価			
		センター	入谷	橋場	三筋
		妥当	妥当	妥当	妥当

### 委員のコメント

各施設とも館長をはじめとした職員の方々が、熱心に利用者と関わりをもって施設の運営にあたっていると受けとめた。

どの施設でも利用者の笑顔が見られ、各施設がうまく機能していると感じた。

施設管理は適正になされていると評価するが、これに満足することなく高齢者が明るいだけでなく生きがいを持てるような事業やイベントを充実し、新規利用者を増やす努力を続けてもらいたい。

人気のある事業を継続するだけでなく、団塊の世代が後期高齢者となることを想定しながら、事業内容の検討をしてほしい。検討にあたっては、外部の講習会や研修会に職員を参加させる必要があると思うので、法人として長期的な視野にたって取り組んでもらいたい。

利用者の立場からは平等性が重要となるが、各施設の地域性を踏まえたプログラムがあっても良いと思う。

今後、老人福祉センターや老人福祉館の利用ができなくなった方々のフォローが非常に重要となってくる。高齢者福祉の様々な事業を実施している台東区社会福祉事業団だからこそ、その点にきちんと取り組み、区民から支持されるよう努めてほしい。

### 3 評価委員会から区への意見

#### 委員のコメント

建築年数が経っている建物を使用しているため、バリアフリーに向けて計画的に改築・改修を進めてもらいたい。また、高齢者の利用を考えると、トイレについては全て洋式トイレであった方が身体に負担がなく利用しやすいため、改修等を検討してはどうか。

各施設の事業について、広報やPRなどの後方支援をしていくべきである。また、老人福祉センターの夜間利用についても、利用団体が増えるよう、区としてもサポート体制を検討してほしい。

## 区による評価

平成26年度 指定管理者施設管理評価シート		部	福祉部	課	高齢福祉課	
施設名称	〔10〕 東京都台東区立老人福祉センター					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H23.4.1 ~ H28.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2)類似施設の管理実績	入谷老人福祉館・橋場老人福祉館・三筋老人福祉館					
(3)経営状況	(25年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入2,763,451,917円,歳出2,671,778,593円,収支差額91,673,324円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区東上野 2 - 2 5 - 1 4					
(2)設置目的	地域の高齢者が、健康で明るく生きがいのある生活を送ることができるよう活動の場を提供する。					
(3)利用者	区内に住所を有する60歳以上の者及び60歳以上の者で組織する団体					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日 9時から21時まで					
(5)規模	延べ床面積 2,130.8㎡のうち1,311.48㎡ 鉄筋コンクリート造地上5階のうち1・2階の一部、3～5階部分 浴室、機能訓練室、茶華道室、教養室、談話室、囲碁将棋室など					
(6)人員体制	5名 内訳...常勤4、非常勤1					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	ことぶき教室（カラオケや麻雀等の教室）、敬老の集い（ことぶき教室受講生の発表会）、健康づくり事業（口腔機能向上教室等）、個人・団体への教養室等の開放、防災訓練 等					
(2)自主事業	各種サロン（事前申込不要で気軽に参加できる活動の場。活動内容：健康体操、脳トレ、口腔ケア等の健康づくり 囲碁や麻雀等の趣味の活動）、地域・世代間交流事業 等					
4. 予算決算の推移						
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算	委託料	46,346,000	46,282,000	49,596,000	49,687,140	49,596,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	5,647,000	5,082,000	6,010,000	8,734,860	6,204,000
	管理経費	51,993,000	51,364,000	55,606,000	58,422,000	55,800,000
決算	委託料	46,281,320	46,282,000	49,596,000	49,655,892	49,596,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	5,917,140	6,486,580	6,300,232	6,235,158	6,182,000
	管理経費	49,618,354	51,428,989	54,959,471	51,761,935	51,709,297
	収支	2,580,106	1,339,591	936,761	4,129,115	4,068,703
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称		単位	22年度	23年度	24年度	25年度
健康づくり(介護予防)事業実施回数		回	250	245	242	254
ことぶき教室実施回数		回	180	180	180	180
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度
利用者数		人	28,000	28,642	27,894	26,665
健康づくり(介護予防)事業・ことぶき教室参加者数		人	6,100	6,027	5,859	6,090



7. 平成25年度評価結果に対する現在までの取組み				
利用者の要望に応じて、自主事業であるサロンの内容を検討し、人気のある麻雀サロンの回数を増やした（24年度：年89回、25年度：年133回）				
8. 評価項目				
3：協定等の水準を上回っている。		0：協定等の水準を下回っている。		
2：協定等の水準どおりである。		-：評価対象外項目。		
1：おおむね協定等の水準だが課題がある。				
評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成	[2]	(f)開館時間等の遵守	[2]
	(b)サービス水準	[2]	(g)自主事業の成果	[2]
	(c)職員配置	[2]	(h)個人情報保護	[2]
	(d)職員研修	[2]	(i)緊急時対応	[2]
	(e)案内・接遇	[2]	(j)警備・防犯体制	[2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検	[2]	(e)危険箇所等の確認	[2]
	(b)備品の管理	[2]	(f)管理記録の作成・保存	[2]
	(c)清掃・衛生管理	[2]	(g)業務委託の事前承認	[2]
	(d)施設の修繕	[2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価	[2]	(d)利用しやすい環境整備	[2]
	(b)苦情・要望への対応と報告	[2]	(e)関係団体・地域との関わり	[2]
	(c)利用者数の目標達成	[2]		
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行	[2]	(c)収支計画の達成	[2]
	(b)管理経費の効率化	[2]	(d)利用料等の徴収・管理	[2]
9. 評価				
S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。				
A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。				
B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。				
C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。				
D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。				
評価の観点	評価	説明		
(1)事業の運営	A	利用者から人気のある麻雀サロンの実施回数を増やし、サロンの参加者数は増加した。老人福祉施設を統括する施設として、「敬老の集い」や「室内ゲーム大会」等の主要なイベントは中心となって開催している。		
(2)施設の維持管理	A	建物保守や施設設備の定期的な保守点検、施設内の清掃委託等を適切に実施している。また、利用者の安全確保のため、自動ドアや非常灯の修理を迅速に実施した。		
(3)利用者の満足度	A	利用者数は減少したものの、利用者満足度調査では高い水準を維持している。また、地域のお祭りへの協力、老人福祉センターに併設する東上野保育園の児童をイベントに招待する等、地域との交流を図っている。		
(4)収入支出	A	予算は適切に執行されている。継続して管理経費の節減に努めており、収支は昨年度と同程度だった。		
10. 総合評価				
良好 妥当 要努力 要改善 不適				
妥当		各老人福祉館の統括や相互調整を行う施設として適切な運営がなされている。麻雀サロンの実施回数の増等、利用者の要望を取り入れて事業を実施している。		
11. 平成26年度評価結果に対する今後の対応				
引き続き利用者のニーズ把握に努めながら、地域の高齢者の健康・生きがいを推進する中心的な施設として、サービスの充実を図っていくことが求められる。また、新規利用者を増やすために積極的な周知に努める必要がある。				

平成26年度 指定管理者施設管理評価シート		部	福祉部	課	高齢福祉課	
施設名称	〔11〕 東京都台東区立入谷老人福祉館					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H23.4.1 ~ H28.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2)類似施設の管理実績	老人福祉センター・橋場老人福祉館・三筋老人福祉館					
(3)経営状況	(25年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入2,763,451,917円,歳出2,671,778,593円,収支差額91,673,324円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区入谷1-16-9					
(2)設置目的	地域の高齢者が、健康で明るく生きがいのある生活を送ることができるよう活動の場を提供する。					
(3)利用者	区内に住所を有する60歳以上の者及び60歳以上の者で組織する団体					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日 9時から17時まで					
(5)規模	延べ床面積 341.24㎡ 鉄筋コンクリート造地上4階 浴室、教養室、茶道・囲碁将棋室、図書室など					
(6)人員体制	4名 内訳...常勤1、非常勤3					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	ことぶき教室(カラオケや麻雀等の教室)、敬老の集い(ことぶき教室受講生の発表会)、健康づくり事業(口腔機能向上教室等)、個人・団体への教養室等の開放、入浴サービス、防災訓練等					
(2)自主事業	各種サロン(事前申込不要で気軽に参加できる活動の場。活動内容:健康体操、脳トレ、口腔ケア等の健康づくり 囲碁や麻雀等の趣味の活動)、地域・世代間交流事業等					
4. 予算決算の推移						
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算	委託料	19,644,000	16,909,400	17,119,190	19,248,095	19,432,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	19,644,000	16,909,400	17,119,190	19,248,095	19,432,000
決算	委託料	19,644,000	16,909,169	17,119,190	19,248,095	19,432,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	15,061,269	16,492,736	16,352,465	19,182,390	19,430,606
収支		4,582,731	416,433	766,725	65,705	1,394
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称		単位	22年度	23年度	24年度	25年度
健康づくり(介護予防)事業実施回数		回	52	75	74	52
ことぶき教室実施回数		回	100	100	100	100
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度
利用者数		人	26,500	26,367	27,140	26,479
健康づくり(介護予防)事業・ことぶき教室参加者数		人	3,100	2,989	2,997	2,555

7. 平成25年度評価結果に対する現在までの取組み				
<p>自主事業であるサロンの実施に力を入れ、開催数・参加者数ともに昨年度を上回った。また、昨年度に引き続き、地域包括支援センター等の関係機関とも連携しながら事業を運営している。</p>				
8. 評価項目				
		3: 協定等の水準を上回っている。 2: 協定等の水準どおりである。 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。	0: 協定等の水準を下回っている。 -: 評価対象外項目。	
評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.1]	(a)施設の目的達成	[2]	(f)開館時間等の遵守	[2]
	(b)サービス水準	[2]	(g)自主事業の成果	[2]
	(c)職員配置	[2]	(h)個人情報保護	[2]
	(d)職員研修	[3]	(i)緊急時対応	[2]
	(e)案内・接遇	[2]	(j)警備・防犯体制	[2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検	[2]	(e)危険箇所等の確認	[2]
	(b)備品の管理	[2]	(f)管理記録の作成・保存	[2]
	(c)清掃・衛生管理	[2]	(g)業務委託の事前承認	[2]
	(d)施設の修繕	[2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価	[2]	(d)利用しやすい環境整備	[2]
	(b)苦情・要望への対応と報告	[2]	(e)関係団体・地域との関わり	[2]
	(c)利用者数の目標達成	[2]		
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行	[2]	(c)収支計画の達成	[2]
	(b)管理経費の効率化	[2]	(d)利用料等の徴収・管理	[2]
9. 評価				
<p>S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。  B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。</p>				
評価の観点	評価	説明		
(1)事業の運営	A	業務基準書に定める事業の実施はもとより、自主事業である介護予防サロン(健康体操や口腔ケア・脳トレ)や趣味のサロン(麻雀等)の開催回数を増やし、参加者数が昨年度を上回った。また、認知症に関する研修等の職員研修にも積極的に参加している。		
(2)施設の維持管理	A	建物保守や施設設備の定期的な保守点検等を委託して適切に実施している。また、日常清掃を職員自らが行い施設全体に目を配ることにより、トイレ修理を迅速に実施する等快適な施設環境を保つことができている。		
(3)利用者の満足度	A	利用者数は例年と概ね同程度である。また利用者満足度調査の結果も良好である。地域包括支援センター等の関係機関と連携した事業運営や、松が谷児童館との交流にも取り組んでいる。		
(4)収入支出	A	予算は適切に執行されている。引き続き管理経費の削減や適切な予算執行が求められる。		
10. 総合評価				
良好 妥当 要努力 要改善 不適				
妥当		適切な施設管理や関係法令の遵守等、全体的に適切な運営がなされている。自主事業であるサロンの実施に力を入れ、成果を上げることができた。		
11. 平成26年度評価結果に対する今後の対応				
<p>利用者数は安定しており、満足度調査でも高い満足度を得られている。今後も高い満足度を維持できるよう、利用者のニーズを把握しサービスを実施していく必要がある。また、新規利用者拡大のため、外部へ積極的なPRを行っていくことが求められる。</p>				

平成26年度 指定管理者施設管理評価シート		部	福祉部	課	高齢福祉課	
施設名称	〔12〕 東京都台東区立橋場老人福祉館					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H23.4.1 ~ H28.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2)類似施設の管理実績	老人福祉センター・入谷老人福祉館・三筋老人福祉館					
(3)経営状況	(25年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入2,763,451,917円,歳出2,671,778,593円,収支差額91,673,324円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区橋場1-36-2					
(2)設置目的	地域の高齢者が、健康で明るく生きがいのある生活を送ることができるよう活動の場を提供する。					
(3)利用者	区内に住所を有する60歳以上の者及び60歳以上の者で組織する団体					
(4)開館日・時間	火曜日から日曜日 9時から17時まで					
(5)規模	延べ床面積 1,544.67㎡のうち365.63㎡ 鉄筋コンクリート造地上5階のうち4階部分 教養室、囲碁将棋室、茶室、談話室など					
(6)人員体制	4名 内訳...常勤1、非常勤3					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	ことぶき教室(カラオケや麻雀等の教室)、敬老の集い(ことぶき教室受講生の発表会)、健康づくり事業(口腔機能向上教室等)、個人・団体への教養室等の開放、防災訓練等					
(2)自主事業	各種サロン(事前申込不要で気軽に参加できる活動の場。活動内容:健康体操、脳トレ、口腔ケア等の健康づくり 囲碁や麻雀等の趣味の活動)、地域・世代間交流事業等					
4. 予算決算の推移						
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算	委託料	16,308,000	16,172,000	16,172,000	16,218,095	16,172,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	16,308,000	16,172,000	16,172,000	16,218,095	16,172,000
決算	委託料	16,308,000	16,172,000	16,172,000	16,218,095	16,172,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	14,814,841	15,267,056	15,166,470	15,730,850	15,785,025
	収支	1,493,159	904,944	1,005,530	487,245	386,975
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	
健康づくり(介護予防)事業実施回数	回	91	68	98	88	
ことぶき教室実施回数	回	100	100	100	100	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値(27年度)	23年度	24年度	25年度	
利用者数	人	23,800	23,809	23,242	23,761	
健康づくり(介護予防)事業・ことぶき教室参加者数	人	4,500	3,589	4,251	4,008	

7. 平成25年度評価結果に対する現在までの取組み				
25年度より、自主事業である脳トレ・口腔ケアサロンに新しいプログラムとして「吹き矢」を導入し、内容の充実を図った。また、昨年度に引き続き、地域包括支援センター等の関係機関と連携しながら事業を運営している。				
8. 評価項目				
3: 協定等の水準を上回っている。		0: 協定等の水準を下回っている。		
2: 協定等の水準どおりである。		-: 評価対象外項目。		
1: おおむね協定等の水準だが課題がある。				
評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成	[2]	(f)開館時間等の遵守	[2]
	(b)サービス水準	[2]	(g)自主事業の成果	[2]
	(c)職員配置	[2]	(h)個人情報保護	[2]
	(d)職員研修	[2]	(i)緊急時対応	[2]
	(e)案内・接遇	[2]	(j)警備・防犯体制	[2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検	[2]	(e)危険箇所等の確認	[2]
	(b)備品の管理	[2]	(f)管理記録の作成・保存	[2]
	(c)清掃・衛生管理	[2]	(g)業務委託の事前承認	[2]
	(d)施設の修繕	[2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価	[2]	(d)利用しやすい環境整備	[2]
	(b)苦情・要望への対応と報告	[2]	(e)関係団体・地域との関わり	[2]
	(c)利用者数の目標達成	[2]		
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行	[2]	(c)収支計画の達成	[2]
	(b)管理経費の効率化	[2]	(d)利用料等の徴収・管理	[2]
9. 評価				
S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。				
A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。				
B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。				
C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。				
D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。				
評価の観点	評価	説明		
(1)事業の運営	A	業務基準書に定める事業の実施だけでなく、自主事業において、新たに口腔ケアのための「吹き矢」サロンを実施する等の工夫が見られた。		
(2)施設の維持管理	A	建物保守や施設設備の定期的な保守点検等を委託により適切に実施している。また、日常清掃を職員が自ら行うことで、施設全体に目を配っている。消防設備点検の指摘事項については、利用者の安全確保のため迅速に修繕を行った。		
(3)利用者の満足度	A	満足度調査を継続して実施し、高い水準を維持している。昨年度に比べ利用者数は若干増加した。また、近隣の玉姫児童館の児童との交流イベントを実施している。		
(4)収入支出	A	予算は適切に執行されている。支出は昨年度と同程度であり、引き続き管理経費の削減や適切な予算執行が求められる。		
10. 総合評価				
良好 妥当 要努力 要改善 不適				
妥当		適切な施設管理や関係法令の遵守等、全体的に適切な運営がなされている。自主事業の内容に工夫が見られ、利用者満足度も高い。		
11. 平成26年度評価結果に対する今後の対応				
利用者数は安定しており、利用者満足度も高い水準にある。引き続き事業内容の充実に努め、一定の利用者数を維持していくとともに、新規利用者の拡大に努めることが求められる。				

平成26年度 指定管理者施設管理評価シート		部	福祉部	課	高齢福祉課	
施設名称	〔13〕 東京都台東区立三筋老人福祉館					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H23.4.1 ~ H28.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2)類似施設の管理実績	老人福祉センター・入谷老人福祉館・橋場老人福祉館					
(3)経営状況	(25年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入2,763,451,917円,歳出2,671,778,593円,収支差額91,673,324円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区三筋2-16-4					
(2)設置目的	地域の高齢者が、健康で明るく生きがいのある生活を送ることができるよう活動の場を提供する。					
(3)利用者	区内に住所を有する60歳以上の者及び60歳以上の者で組織する団体					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日 9時から17時まで					
(5)規模	延べ床面積 1,111.74㎡のうち597.67㎡ 鉄筋コンクリート造地上5階のうち1・2階の一部、3・4・5階部分 茶室、浴室、教養室、囲碁将棋室、娯楽室など					
(6)人員体制	4名 内訳...常勤1、非常勤3					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	ことぶき教室(カラオケや麻雀等の教室)、敬老の集い(ことぶき教室受講生の発表会)、健康づくり事業(口腔機能向上教室等)、個人・団体への教養室等の開放、入浴サービス、防災訓練等					
(2)自主事業	各種サロン(事前申込不要で気軽に参加できる活動の場。活動内容:健康体操、脳トレ、口腔ケア等の健康づくり 囲碁や麻雀等の趣味の活動)、地域・世代間交流事業等					
4. 予算決算の推移						
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算	委託料	21,692,000	20,982,000	20,982,000	18,685,095	18,639,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	21,692,000	20,982,000	20,982,000	18,685,095	18,639,000
決算	委託料	21,692,000	20,982,000	20,982,000	18,685,095	18,639,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	124,029	0	3,170	0	0
	管理経費	19,696,610	19,208,402	19,917,027	18,481,283	18,543,873
	収支	2,119,419	1,773,598	1,068,143	203,812	95,127
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	
健康づくり(介護予防)事業実施回数	回	72	77	53	59	
ことぶき教室実施回数	回	100	100	100	100	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値(27年度)	23年度	24年度	25年度	
利用者数	人	37,700	36,460	37,016	37,667	
健康づくり(介護予防)事業・ことぶき教室参加者数	人	3,300	3,504	2,944	3,205	

7. 平成25年度評価結果に対する現在までの取組み				
<p>自主事業であるサロンの参加者数が昨年度の実績を上回るとともに、全体の利用者数も増加した。昨年度に引き続き、地域包括支援センター等の関係機関と連携しながら事業を運営している。</p>				
8. 評価項目				
		3: 協定等の水準を上回っている。 2: 協定等の水準どおりである。 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。	0: 協定等の水準を下回っている。 -: 評価対象外項目。	
評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.1]	(a)施設の目的達成	[2]	(f)開館時間等の遵守	[2]
	(b)サービス水準	[2]	(g)自主事業の成果	[3]
	(c)職員配置	[2]	(h)個人情報保護	[2]
	(d)職員研修	[2]	(i)緊急時対応	[2]
	(e)案内・接遇	[2]	(j)警備・防犯体制	[2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検	[2]	(e)危険箇所等の確認	[2]
	(b)備品の管理	[2]	(f)管理記録の作成・保存	[2]
	(c)清掃・衛生管理	[2]	(g)業務委託の事前承認	[2]
	(d)施設の修繕	[2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価	[2]	(d)利用しやすい環境整備	[2]
	(b)苦情・要望への対応と報告	[2]	(e)関係団体・地域との関わり	[2]
	(c)利用者数の目標達成	[2]		
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行	[2]	(c)収支計画の達成	[2]
	(b)管理経費の効率化	[2]	(d)利用料等の徴収・管理	[2]
9. 評価				
		S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。		
評価の観点	評価	説明		
(1)事業の運営	A	業務基準書に定める事業の実施のみならず、自主事業であるサロンにも力を入れ、参加者数が昨年度に比べ増加している。特に健康体操サロンは実施回数を増やし、サロン参加者数の増につながっている。		
(2)施設の維持管理	A	建物保守や施設設備の定期的な保守点検等を適切に実施している。日常清掃については職員が自ら行うことで施設全体に目を配っている。また、利用者が快適に過ごすことができるよう、集会室の畳の表替え等を実施した。		
(3)利用者の満足度	A	健康づくり事業の参加者数が目標に届かなかったものの、昨年度に比べ増加し、全体の利用者数も増えている。保育園や児童館との交流や町会の夏祭りへの協力等、地域との交流に取り組んでいる。		
(4)収入支出	A	予算は適切に執行されている。支出は昨年度と同程度であり、引き続き管理経費の削減や適切な予算執行が求められる。		
10. 総合評価				
		良好 妥当 要努力 要改善 不適		
		<b>妥当</b>	適切な施設管理や関係法令の遵守等、全体的に適切な運営がなされている。着実に利用者数を伸ばしており、利用者満足度も高い水準にある。	
11. 平成26年度評価結果に対する今後の対応				
<p>利用者数が少しずつ伸びているため、今後も利用者数拡大や新規利用者の増に向けてサービスの充実やPRに努めることが求められる。また、引き続き保育園・児童館との交流や町会行事への協力に取り組む、地域との関わりを深めていくことが望まれる。</p>				